

RSS を情報源とする書籍データベースの提案

048035 勝井 美沙緒

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

電子書籍市場が拡大しつつある現在でも、書籍の需要は未だ高い。しかし書籍は冊数が増えると書籍名や巻数などの情報の管理・把握が困難になる。また、購入時に参考にする情報や購入手段自体でインターネットを活用している人は少ないが、ネット書店は多く、新刊情報を RSS で配信する出版社も存在する。

そこで、RSS を新刊書籍の情報源とすることでインターネットを活用しつつ、新刊と蔵書、さらに購入予定の書籍を一括管理できる書籍管理システムを作成した。

2. 機能

本システムはユーザの書籍管理の支援を目的として次のような機能を備えている。

- RSS を情報源とする新刊情報の取得
- ユーザの手入力による書籍情報の追加
- 語句による AND 検索
- 新刊・購入予定・購入済みの書籍情報をリスト表示
- 書籍情報のリスト間移動、削除
- 備考編集
- 現在情報源とする RSS の一覧表示

これらの機能を ID、パスワードによってユーザごとに管理する。

3. システム構成

本システムは Apache, PHP, MySQL を用いて作成した Web アプリケーションである。RSS 解析には MagpieRSS を使用した。

トップページから ID、パスワードでログインし、メ

ニューからリストなどのページへと移動する。ページ遷移の概要を図 1 に示す。

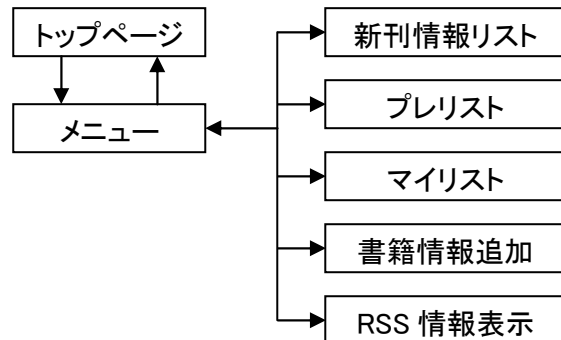


図 1 ページ遷移図

4. 評価

実験協力者である大学生の男女 4 人に、簡単な作業手順所に沿って本システムを使用してもらい、操作、リスト、検索、情報の追加・移動の行いやすさ、見やすさについてアンケート調査を行った。

その結果、調査したすべての項目において「ふつう」以上の評価が得られ、全体としては高い評価を得られた。意見としてはページデザインや情報表示の内容などについての要望が多く見られ、最低限の使いやすさは提供できているものの、ユーザはそれ以上の機能を望んでいることがわかった。

5. まとめ

評価実験で寄せられた意見より、書籍管理システムとしての目的は達成できているものの、主に表示についてユーザの好みが必要であるといえる。

今後はそれに加えて、ユーザビリティの向上、書評の利用などを行い、よりユーザの好みに合い、かつ使いやすいシステムの検討が必要である。